

1. 件名：「高浜発電所1号機及び2号機 設計及び工事の計画（使用済燃料ピット用中性子吸収体の廃止等）に関する面談【3】」
2. 日時：令和5年5月18日 16時45分～18時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）奥企画調査官、中川上席安全審査官、
鈴木主任安全審査官
技術基盤グループ システム安全研究部門 山本技術研究調査官

関西電力株式会社：
原子力事業本部 原子力発電部門 燃料保全グループ チーフマネジャー
他4名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料：なし

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁スズキです。
0:00:05	関西電力高浜 12。
0:00:08	SSPの設工認の審査会合ラップアップを始めます。
0:00:15	関西電力から、今日の内容の振り返り等、お願いします。
0:00:25	関西電力の富樫でございます。
0:00:29	資料で振り返っていきますけれども資料の 2-1 をご説明させていただいて、
0:00:38	まず右肩 4 ページ目、
0:00:41	の方ですけれども、
0:00:44	不確定性、計算コードの不確定性の算出に使ったベンチマークがある。
0:00:52	今回、設工認で、
0:00:56	訂正選んでますけれども不確定性、
0:00:59	等選んだ理由。
0:01:02	そういったところがまとまってないというようなご指摘だったかと思えますのでそういったところを資料で、
0:01:10	しっかり資料に書くというところが、1 点目の、
0:01:15	ご指摘と、
0:01:17	認識しております。
0:01:20	そうですね。
0:01:25	続いて、
0:01:37	続いてですけれども、
0:01:40	次は妥当性確認の話の中で、今回定数維持のEALF等々の体系を妥当性確認。
0:01:50	追加していますけれどもそれは不確定性の関心は、入れていません。
0:01:56	そういったところの、
0:01:59	そちらも理由ですね、で言うと、配送してるかっていうところの説明をしっかりと資料化すると。
0:02:06	いうところが 2 点目のご指摘と理解
0:02:13	それから 3 点目ですけれども、
0:02:18	ミウラは、
0:02:21	右方の、
0:02:23	10 ページ目のところでかなり議論させていただいたところですが、
0:02:32	計算コードの不確定性が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:35	あつて、失礼しました。
0:02:39	今回の評価にあたって、冠水維持を不確定性を、
0:02:44	使って清野代表と、
0:02:46	しておりますけれども、
0:02:48	その点について、
0:02:51	どういうふうの評価しているかというところも含めて、
0:02:56	その判断の、どういった判断、考え方で、そういった
0:03:03	結果、関係上代表することになるとか、
0:03:06	というところを、資料化すると。
0:03:09	そのコメントと理解。
0:03:26	いただいたコメントとしては以上と考えておりますけれども、少し今後お答えさせていただくにあたって少し
0:03:34	確認させていただければと思います。
0:03:37	まず1点目からになりますけれども、不確定性の
0:03:45	説明というところで、
0:03:47	我々としては、この4ページのところで、
0:03:53	もともと
0:03:55	既工認では、
0:03:57	燃料要素に着目しまして、
0:04:00	ウラン燃料、それからMOX燃料とある中で従来は燃焼燃料というのが評価体系に入っておりますので、
0:04:07	MOX燃料というのをを使って設定さんは選んでおりましたと。
0:04:13	一方で今回は燃焼燃料ございませんので、ね、考え方を変えずにですね、燃料要素を、
0:04:20	選定するという観点で、
0:04:24	同じ観点で考えると今回は燃焼燃料ございませんので、新燃料、ウランしかございませんので、
0:04:29	そのウラン燃料を、
0:04:31	のベンチマークとして選定していると。
0:04:36	いうところの
0:04:38	ご説明をさせていただいたかと思っておりますけれども、そういった趣旨の内容を
0:04:43	資料の中で、文章で記載する。
0:04:46	対応。
0:04:48	光を欲しかった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:55	規制庁スズキですけれども、
0:04:58	今日の説明の趣旨からすると、
0:05:03	妥当性評価、
0:05:05	がまず先にあって、
0:05:07	で、
0:05:08	そこで獲られた危険なり、
0:05:14	計算コードの適用できる、
0:05:17	範囲を明確化できた。
0:05:21	いったところが前提になって、確定しての評価。
0:05:25	最終的に選出した。
0:05:28	ケースで、評価してきたんだと。ただ、その時に、水位が極めて下がったところだとかそういったところっていうのを、どのように説明するかっていうのは妥当性、
0:05:41	確認の方の知見を持って説明するんだという、その流れがしっかり書かれているのが重要かなというふうに思って、
0:05:51	いて、
0:05:52	今日の数、関西電力の説明の趣旨からするとそういう流れかなと思っていて、
0:05:57	資料 2-3 は、
0:06:01	順番的には、
0:06:02	資料 2-3 の 1 ページの、
0:06:06	2 ポツが、
0:06:07	妥当性確認のところで、
0:06:10	3 ポツが、
0:06:15	あ、ごめんなさい。
0:06:17	2 ポツと 3 ポツが妥当性確認のところで、
0:06:24	次のページの 4 ポツのところ、
0:06:27	定性評価って順番になっているので今言った流れがここで読み取れるような記載になっていれば、
0:06:34	わかりやすいかなっていうふうに思いました。
0:06:38	そういうふうにごめんなさいっていう話今言われたっていうことでよろしいですかね。
0:06:49	葛西令和土橋です。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:52	私がしゃべった内容から笠井に追加でいろいろ情報追加していただいて今ご説明いただいたのかなと思いましたので、戸田から資料 2-3 のイメージで、順番としては、
0:07:04	妥当性確認があつて、計算コードの不確定性とありますけど、男の繋ぎの部分といいますか、その妥当性確認。
0:07:14	こうやって、
0:07:15	上でその中から、不確定性、
0:07:19	どう、どう、
0:07:22	どんな人を選定するかというのを選んで、
0:07:26	関西電力の福原です
0:07:29	鈴木さんおっしゃられているのはもうこれ新野さんという方の書類があるのでホデも国もそれっぽいのが今も立ってるので、その中をしっかりと内容を充実させて書いてくださってということかなと思いましたけど。
0:07:44	関連とかですね具体的にその充実、充実させる内容が、この
0:07:49	妥当性確認と計算コードの関係みたいな関係性みたいなところを、
0:07:58	はい。規制庁土肥です関係性というかマツノつなげて一つ一つの
0:08:03	ストーリーとして書かれるというふうに理解したので別に章は分けていいですよ。分けてもいいけど、
0:08:09	一つのストーリーとしてそういうふうに、結果を出してきたんだっていう流れの説明があれば、
0:08:16	いいかなっていうのと、そのときに、
0:08:21	第 2 表、
0:08:23	と。
0:08:25	ごめん、第 2 表じゃなくて、
0:08:28	第 4 表の、
0:08:34	今回の時期との、
0:08:38	のパラメータの範囲ってところが、
0:08:41	第 4 表の方は、
0:08:43	抜けているので、
0:08:45	それ入れていただいて、
0:08:47	その辺りも妥当性確認ところで引っ張ってきてると思っているので、その説明をしっかりとっていただきたいなというふうに思いますけど。
0:08:58	関西電力の福原です。ちょっとその趣旨で、作業しようと思うんですけどもその時に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:06	後ろ向きな話っていうとあれなんですけど過去の既キョッカとか近隣カ一との整合性っていうかですね、あん時はこうこうでしてねっていうところ。
0:09:17	のお話がいらいますか、言えませんかっていうところなんですけど、我々としては今回の
0:09:25	この今、ご審査いただいてる内容をどう説明するかっていうことかなと思ってましてその中でロジックが完結するようにはまずさせていただこうと思うんですけども、
0:09:37	それじゃ、ちょっと作業する前からこういう、もう質問ご確認させていただいて、非常に恐縮なんですけども、いやそうしていくうちにそうすると、じゃあ、既許可、既認可あって、それにちょっと合うのかなっていうところが今正直ちょっと見通せてないところもありましてですね。
0:09:53	そこら辺ちょっと規制庁さんの今回のこの審査に対してどうどうお考えなのかなっていうところまでちょっとお聞かせ願えればと思います。
0:10:02	まず既許可ってまとめ資料の話だし、
0:10:06	本文事項に、
0:10:08	そのまま書いてあるわけじゃないので、
0:10:11	それはその時そういうふうにして説明してたんですっていうことだと思うので、何かそれにとられる必要私は、
0:10:18	ないかなと思いますけど、一方で、
0:10:21	既認可工事計画の認可の申請書類に書いてあった内容と、
0:10:29	今回の申請の書類に書いてくる内容に、
0:10:34	考え方だと。
0:10:35	を変えなきゃいけないところがあるのであれば、
0:10:38	どう考え方を変えた。いや、考え方は同じです。ただ、
0:10:43	扱う解析が変わったので、
0:10:46	その新美とした書き方に直したただけですっていうんだったらそうだし、
0:10:51	その辺は
0:10:53	どのように説明される。
0:10:55	かっていうところは、
0:10:56	お任せしますけれども、
0:10:59	既認可との、
0:11:01	比較 2 をどうだってなんかこう、理由づけを一生懸命するよりかは、考え方が変わったのか変わってないのか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:09	そのあたりで書いていただいた方がいいのかなっていうふうに思いますけど。
0:11:15	はい。関西電力福原です。了解いたしました。
0:11:23	すいません稼いでいくとおかしいですか。
0:11:26	二つ前ぐらいの関さんの発言でちょっと確認しておきたいんですけども、第4表っていうようなに関して、
0:11:33	説明をというようなお話をいただいたかなと思うんですけども、資料2-3の第4章、
0:11:41	どうしたって言ったのか、確認させてください。
0:11:46	はいそうです資料2-472-3の第4表、ここが、
0:11:52	文章でいうと、
0:11:54	1ページ目の3ポツの、
0:11:57	低水位時における解析コード適用の妥当性についてっていうところでこれも妥当性確認の説明なんですけど、
0:12:06	第4表に示す定数。
0:12:09	水密度での臨界実験が、
0:12:12	含まれておりて水味噌状態においてもCIの傾向に特異な、
0:12:17	傾向ないことが確認できるっていう話以前に、
0:12:22	第2条とか第3章で書いてあるように、今回の実験、実機の
0:12:28	体系とか、評価条件、
0:12:31	をカバーしているっていう説明。
0:12:34	説明が、
0:12:35	そもそも表にもないですよ。
0:12:39	2-2、第2表とか第3表右側にその説明が載ってるんですけど。
0:12:48	いや別に飄々2課付け足さなくても、9文章の方でちゃんと説明されていれば、参照するデータは変わらないと思ってるので、
0:12:58	どっちでもいいんですけど、とりあえずまず、
0:13:02	今回の時、実機体系。
0:13:04	をカバーするベンチマークを選んできてるんだっていう、
0:13:09	話がまず前提にあると思う。
0:13:12	いるし、審査会合でもそう説明されていたので、
0:13:15	まずそういう説明が欲しいですよっていう話をしてるんですけど。
0:13:19	承知しました第3表の一番右の列に相当するものを、
0:13:27	第4表に追加するかもしれない文章というな中で、
0:13:31	へえ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:33	今回の評価体系に、
0:13:36	と、
0:13:38	どうか。
0:13:41	人がわかるような記載をする
0:13:45	規制庁スズキです
0:13:47	表に書いたから終わりですじゃなくて、説明は欲しいんです。いずれにしても、はい。
0:13:56	監査役鳥羽氏です。承知いたしました。
0:14:10	関西電力の平野でございますちょっと今コメントに関してちょっと、ちょっと補足といいますかご確認させていただきたいんですけども、
0:14:17	今ご発言の趣旨としてはこのような、第4表の輪に示すような臨界実験というのは今回の評価体系の範囲のもの。
0:14:26	今回の評価体系に合致するものを選んできたというような、
0:14:30	ことがわかるように示して欲しいと言ったご趣旨だったかなと思いますけども、
0:14:35	例えばこの一番右の体系なんかを確認いただければ、ちょっとわかりやすいかなと思うんですけども。
0:14:43	一番右の体系なんかについてはいわゆる水密度がゼロの状態ですね、減速材がほとんどないような状態を、でもちゃんと確認できることを示すというために安東Head。
0:14:54	体系でございます、
0:14:55	いわゆる
0:14:57	その結果燃料要素等があまり今回の評価体系には合致してくるようなものではないと。なのでですね今回の評価体系、
0:15:07	入っているような臨界実験ではなくて、
0:15:11	今回の評価体系のうちこの部分を見たいからこの臨界実験時ベンチマークを選出してきたというようなご説明になります。そこはご理解いただけてると思いますけどもよろしかったでしょうか。
0:15:22	規制庁鈴木です多分求めていることとやろうとすることが何か、
0:15:28	逆のような気がして、まず、今回の解析を解析問題を、
0:15:34	扱える解析コードですかっていうために適用妥当性確認やってるので、
0:15:39	今回行う解析の体系や評価条件の範囲があって、
0:15:45	それを、と同じ範囲の確認ができてるもしくはそれを超える範囲の確認ができてるかっていうのがこの適用妥当性確認だと思っているので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:56	第4表の一番右側が、いやもっと広いところまでやってますっていうのは全然何も問題ないと思っていて、ただ、それを選んだ意味合いは、
0:16:06	別に何かあるんですよねっていうだけだと思うんですけど。
0:16:13	反省で古野喜納でございます。あと承知いたしましたちょっと。
0:16:16	いわゆるですねこの右側についてないっていう
0:16:20	評価体系の範疇の中からちゃんと選んできてるというものを、
0:16:26	示してくださいというふうにとらえてしまったものを趣旨はご理解いたし
0:16:55	この形状のオクですちょっと理解の確認させていただきたいんですけど先ほどの会合でのやりとりの中で
0:17:02	また妥当性確認に関しては、
0:17:04	三崎議員。
0:17:05	ぐらいまでしか国際便じゃなかったっていうことですから、そういう意味では定数岩見工までは妥当性確認できたけどもそれ以下は、
0:17:13	別途確認できないという理解でよい。
0:17:17	関西電力の平でございます。ですね我々の考えといたしましては、資料の2-1ですねパワーポイントのPDF化したものの右肩9ページの図でございますけども、
0:17:31	こちらの左の図に、EALFの図がございまして、一番右側のところにも、
0:17:38	やはり先ほど述べた一番右の図がちょっと変な、
0:17:41	体系でございますけどこういうふうの説明させ
0:17:44	スロープでございますけども、
0:17:46	高速中性子の領域から十分に減速された領域まですべて、
0:17:51	包絡するような形で、ベンチマークが取っていると。
0:17:54	ということでございますので、当然その中間の辺り、松井200ミリメートル以下ぐらいの、
0:18:00	部分ですね200から0ぐらいの部分についても我々としては評価ができていますと、いうふうに認識していたと。
0:18:07	いうふうな次第です。
0:18:11	はい。規制庁6です。直接コベント比較はできてないけれども、0まで大丈夫だろうと類推ができるとそういう理解。
0:18:23	とも別の話最後に、会合の中で議論になった部分ですけども、
0:18:31	ちょっとちょっと、規制庁スズキですけど、
0:18:35	今の奥が聞いた話と答えは、審査会合でそんなこと言ってないし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:42	ヒアリングにおいてもそんなことはし放しものじゃないですと 思ってたので、
0:18:48	それを追加するっていうことであれば、次回審査会合でもう1回 言ってもらわなきゃいけないんですけれども、
0:18:55	先ほどの審査会合の中では、あくまでも、
0:19:00	資料2-3の第4表、
0:19:04	ごめんなさい第4表じゃなくて第2表、
0:19:07	第2号の範囲において、気相側に水を降らしたとき密度、
0:19:16	水溝の非常に水が低いときの計算がそれなりにできて、
0:19:23	液相と木曾側の方の両方がうまく計算できているってことを確認 できてるから、
0:19:32	エネルギー領域をもう少し高いところまで持っていったとしても、 その計算内容は変わりませんよって話を、
0:19:40	されていたとされていて、いやその話をいやこの第4表の一番右 側の、
0:19:46	高いエネルギーのところやってるから大丈夫ですって今更ながら言 われるんだったらそれをもう一度審査会合でやりたいんですけど、
0:19:53	その関西電力の平野でございますと、そういった説明をさせていただ いた上で、さらにですけども、その筒井200ミリメートル程度までは存在 しております、
0:20:05	衛藤。
0:20:06	当然その近くでございます。
0:20:12	の、近傍の部分っていうのも計算。
0:20:18	もう一度最初カラー
0:20:21	の部分についても、
0:20:23	当然
0:20:25	評価ができていた趣旨で、審査会合ではご説明させていただ き、
0:20:38	適切なわけですが、
0:20:39	今の話がちょっとよく理解できないのがですね、結局表明はどう扱 われてんですか。
0:20:45	浦2008とかの表明、
0:20:48	公開されてるんで、一度ご覧いただきたいんですけど。
0:20:51	全部でも、
0:20:54	100エレクト分と上の方に行くんですけどね、照明がどんどんどん どん、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:59	早剥でも、
0:21:00	一つずつ分離できない、いわゆる気分に共鳴料金とかあるんですけど、
0:21:06	今までのこのベンチマークだとその町名を避けたっていうか下のわかりやすいところで、
0:21:12	上がってけばいくほど、
0:21:14	共鳴の扱いが難しいんです。だから、当然
0:21:19	精度も悪くなるしこれ各私だけじゃなくて出た方もいる。
0:21:24	だからまずうそんな単純なもんじゃないっていうまずおっしゃる通り、申し上げたい。
0:21:31	新たにですねこれ数字は言えないんですけどちょっと追加されてますよね。なんていうんすか。
0:21:38	あれで、
0:21:40	あのぐらいだったらいいかなというところを、
0:21:42	なんですけどね。
0:21:44	基本的には、あそこまで行くと、もう気分まで、
0:21:48	食い込んでるし、その割には制度いないのが正直なところなんで、
0:21:54	そこまでやられてるのでいいかなっていう気もしてるシアトウアノ実験もあんまないでしょう。だからそれで無理ないものを、
0:22:02	いうのも、
0:22:03	悪いなど。
0:22:05	そこまでやってんだっていいかなという気はしてるんだけど、御説明で、
0:22:09	上のほうを押さえてるから間位ですって言われたらもうおいちゃんオダんですね。
0:22:15	全員が欲しいと。
0:22:22	関西電力の平でございます。衛藤。
0:22:25	そういった趣旨も踏まえまして、我々としては高い領域の部分っていうのもベンチマークしてますし、当然うまく、
0:22:35	200ミリ、
0:22:41	低水領域におけるベンチマークも実施しまして
0:22:46	よ養分かな、
0:22:48	ご説明させていただいた。
0:22:50	とは考えているんですけども、
0:22:54	粗相ではないと。
0:22:56	規制庁鈴木です。私はそんなつもりで全然話は聞いてなくて、
0:23:03	資料、明日で炊事の家復帰体系。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:07	相当の
0:23:09	ベンチマークっていうのは、水位 200 ミリ以下ぐらいのところのEALFは若干カバーしてない、ストレッチしてるように見えるけど、
0:23:19	炉物理的にはちゃんと扱えてるってこと
0:23:23	ベンチマークのエネルギー領域のところ、話ができているってことであれば、その説明をしっかりと上で、
0:23:31	水位 0 に近い、0 に相当するようなどころまでちゃんと適用妥当性があるんだっていうふうに、
0:23:39	示され、説明されるってことであれば、理解しますよっていうふうに言ったつもりだったんですけど。
0:23:45	うんそれは違うってことですか。
0:23:48	もう 1 回ちょっとそこは、はっきりしてください。
0:23:53	関西電力の富樫でございます。
0:23:55	今、
0:23:56	2-1 の、11 ページ目の、
0:24:00	右の分の
0:24:04	EALF。
0:24:06	今回の評価体系における基礎高さの範囲のいえいえ、示しますけども、これこの範囲をしっかりと評価できているというご説明をさせていただく際に、
0:24:19	今回、追加で妥当性確認として、追加で加えさせていただきました低水準の体系の
0:24:30	もの。
0:24:31	こちらが 200 ミリ、相当に程度に相当する、
0:24:40	のエネルギーでございます。
0:24:42	逆か。そのいえるエネルギーに相当するのは 200 ミリ程度。
0:24:49	で、そこは、
0:24:52	この椎葉委員、その範囲については椎葉伊賀、しっかりやっているということを確認してございます。
0:24:58	一方で水 200mm、ベンチマークとしては、対 200mmまでの範囲なんですけれども、
0:25:07	評価の体系としましては、
0:25:11	最低ではもう、液相は、
0:25:15	少なく、ほぼ気相部。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:17	の評価体系というところで、評価を実施して、良好な芝居が獲られている。
0:25:23	そういったところをもって、基礎分がより大きくなるような、さらに、水が
0:25:31	低下した。
0:25:32	はい。
0:25:33	においても、このコードの適用っていうのは、
0:25:36	できますと適用することは妥当ですということを、を説明させていただくと。
0:25:43	そういうそういった説明であれば、ご理解していただけるというふうに理解いたしましたけど、
0:25:48	規制庁都築です審査会合ではそういうふうに説明を聞いたものとして理解したというふうに、
0:25:54	申し上げたつもりですので、
0:25:57	素行を変えられないということであればそういう資料にさせていただきたいし、
0:26:03	変えられるという、今のはず。
0:26:05	話の何かこう宣言であるんだったら次回聞きますよっていう話ですので、
0:26:11	前者でいいですか。
0:26:15	関西電力富樫でございます。前者の方向で資料は
0:26:19	説明させていただきたいと思います。
0:26:22	はい。
0:26:24	そこはしっかりまとめてください。
0:26:28	で、
0:26:30	規制庁側からちょっと他の話があるということ。
0:26:33	はい。10 ページの表に関してなんですけどちょっと、
0:26:39	読み方、ちょっと会合の中のやりとりを聞いていて、また見方がちょっとわからなくなったんで確認させていただきたいんですけど。
0:26:47	製作公差による不確定性は、完成時でも、計算コードの不確定性を上回っていた以外程度っていう3ポツのところですけど、
0:26:57	枚挙C級がこれは0.006をとかで、一番下の不確定性の合計は、0.01のオーダーっていうことで単純に見て二倍あります。
0:27:07	ということですけど、これは冠水時においてもそうだし、
0:27:09	ツジが下がっていても同じような傾向を示していると。ただ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:13	簡単に赤で書いてあるように1本のSEによるばらつきは0.01程度って いうことで、非常にこれは切りたいと。
0:27:22	お話しされてるわけですけど、
0:27:24	これとの単発の関係でいくと、確かに不確定性のばらつきピジョンという のはモンテカルロ法による統計誤差1°Cの2倍程度、これは新だと評 価読み取れますけども、
0:27:33	D判定決めますか、これはどういう、
0:27:41	っていうのは、
0:27:44	統計誤差
0:27:46	ああ、なるほど。
0:27:47	そういうことですか。
0:27:54	なるほど。
0:27:58	でどう損金判定基準のその0.98との裕度ってあるんですけど、これは、 判定基準の0.98。
0:28:05	実際その実行度合いと計算結果で0.95程度だと思うので、その差をと ると0.03ぐらい。
0:28:12	それはこの尤度といったようなこの0.0サノって言ってる。
0:28:17	それはそうです。
0:28:19	これは何ていうか、1キロにせよ昼間にせよ、この0.03というところをど ういうふうに比較できるのかってちょっとよくわからないんですがそこを ちょっと説明をお願いします。
0:28:31	あと誘導との融度等と福土清野。
0:28:36	関係性何についてなんですけども、
0:28:39	まず我々が右下の表ですね、を用いてご説明させていただいたかった のはですね会合のときにも申し上げさせていただきましたけども、
0:28:49	関西のところでは不確定性を計算しようと思うと分水のところでは不確定性 を計算しようとも、その値っていうのはほとんど変わらないのだから、
0:29:00	一番高いところ取ってしまえば、
0:29:04	あとはほとんど変わらないでしょうと。
0:29:07	いうことをせ、ご説明させていただいている次第でございまして、完成の ところとほぼ横ばいなので、専務のところでもう1度のデジタル値として お示しする。
0:29:17	でもないのではないかと、いうことを、ご説明させていただいた次第でご ざいます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:24	はい規制庁です。ありがとうございます。ちょっとこのばらつきの程度感が復興増税の程度はねてくるのかってというのはちょっと時間がないんですけど、これが例えばその 0.03 を超えるぐらいはねてくるようであれば 0.98 超えちゃったってこともあり得るのかなっていうところがちょっと懸念されるんですが、
0:29:40	ただ有り得ないってというのはどういうふうに繰り返せばいい。
0:29:45	一つのばらつきが、0. 予算を超えないというものはですね
0:29:50	下、下に、
0:29:52	書いてある通り、不確定性、
0:29:56	関西電力の小原です。えっとですね、まずこの表の見方をちゃんとしつかりご説明できてなかったのは我々の反省かなと思ってまして。
0:30:10	右下の表で不確定性合計ってイプシロンって出てくるんですけども、これ数字しゃべった赤にあったっけ。ここはいいんですね。はい。ここは 0.0115 とか 0.
0:30:23	104 で一番右に行きますと 0.0121 という数字が出てきてますと、これはその上からにありますその計算コードの不確定性っていうものと、
0:30:35	製作公差に基づく不確定性、とかこの統計オーサーから最終的に計算される数字になるんですけども、この今言いました一番下の行のこの三つの数字っていうものを、
0:30:50	この一番左のグラフありますけども、この左のグラフがプロットを打てるのは不確定性を指していない生値になります。
0:31:01	この赤い線が判定基準なんですけども、
0:31:06	塩素を考慮しない基本係数とか参考で塩素を考慮したケースって書いてますよね青いプロットとオレンジ色のプロットが
0:31:17	水、0 から満水のところまで実効増倍率書いてるんですけども、これが生値ですノミナル値って我々言うやつですけども、
0:31:26	それに対して不確定性を、
0:31:30	多数考慮するという行為をまずしますと、それは何かそういう構想の行為は何ですかっていうところのさっき言った、右下の表の、この三つの数字を、この生値に達してみると、
0:31:43	ということがそれに
0:31:46	同じ意味なんですけども、ご覧いただいてちょっとグラフの目盛りが粗くて非常に恐縮なんですけども、例えばこれ一番、
0:31:54	水が満水のところでいきますと、0.95 弱ぐらいのところ、
0:32:00	ですよ、デジタル値でいきますと、それに対して、この右下の 0.

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:07	115 とかそのオーダーのものを足したとしても、この
0:32:14	算定基準 0.98 に対して全然
0:32:20	もうもごみみたいな量ですねというのがまず我々のこのもとの資料での説明はそういう御説明に、まず今、桑名なりましたと。
0:32:28	というのがまず、
0:32:30	はい。最初のところで、
0:32:32	規制庁の奥です。ありがとうございます。そうするとこの 2 本っていうのは無次元量なんですけど、実効増倍率と単純に足して評価できるそういう値であると理解してよろしいということです。
0:32:43	わかりました。ありがとうございます。
0:32:57	規制庁するけどそれでこの
0:33:00	政策構想に基づく不確定性を含めた、
0:33:03	臨界判定についてどういうふうにやってるかっていうところは、今説明されたように、それぞれの次のところを出してみるっていうやり方を、
0:33:13	して一番厳しいのが、冠水維持ですって言い方になるのか、それともそもそも、
0:33:19	政策構想に基づく不確定性、
0:33:22	で、
0:33:24	対関係、ほとんど関係しないように見意味があるような差にはならないので、
0:33:31	代表時をまず選んできて、どの水にも同じものを出すんですって言っているのか、どっちなんですかね。
0:33:38	関西電力の福原です。今のでいきますと後者になります。今日会合の中でももう少し混乱というか私の言い方がよくなかったからなのかもしれないんですけども、
0:33:51	水伊井、今、一番下に書いてますこの三つの数字は、水位ゼロ、1000 mm 満水で、どれも大差ないですと。
0:34:03	というのがまず我々の基本的なスタンスです。
0:34:06	そうしたときに、水位を維持、維持してもう、ここの不確定性というのはあまり効いてこない、っていうまずそこがまず我々、知見として
0:34:17	あるとそこに立脚して、あとはノミナルが一番高かったところに、エース不確定性を立つんであれば、十分この体系全体を評価判定できるだろうと。
0:34:28	というのが我々の考え方でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:34	規制庁数でそこでなぜ 0.98 との比較が入ってくるのか意味がわかんなくて、
0:34:39	不確定性評価と 0.98 等に近いか近くないかって関係ないですよ全くと。
0:34:45	何の関係性もないですよ。
0:34:47	関西電力の福原です。そこは前回のヒアリングでも鈴木さんからそういうご発言あったのは私、よく理解しております。ただ一方では我々がもともこの資料でどういうつもりで書いてきたのかっていうのだけ申し上げさせていただきますと、
0:35:02	不確定性の
0:35:05	まずばらつき、水を変えたところで、数字あんまり変わってきませんねというのがまず一つ。
0:35:13	と、もう一つ我々こだわって考えているのが、この数字自体がまず小さいですよ。
0:35:21	そういう思いもあるというところから、どんな貸し方したところで結局この 0.98 に対して、大分全然下のところの議論ですよ。
0:35:32	なので、そういうどれを取ってきてもいいって言うと少し乱暴なのかもしれないですけども、そういうところのデータ数に使っておくってことで、それほど変なことには、
0:35:44	ならないんじゃないですかというのが我々の考えでございます。
0:35:49	市町村へそれは出すと評価してみても結果としてそうでしたっていう説明をしているにすぎないと思っているので、
0:35:56	評価はするんだってことです、水ごとの。
0:36:01	関西電力の福原です。臼井ごとの評価をしてみたのがこの表になります。市長それでわかりましたじゃそういう説明をちゃんとしてください。
0:36:12	ここ判定するには、
0:36:14	スイスイごとに、
0:36:15	不確定性、製作公差の不確定性を評価した上で、
0:36:20	どこが代表になるかっていうのを決めるんですっていうふうに今理解しましたので、
0:36:26	先生関西電力の平野です。我々としては、
0:36:29	今回の評価の皆付け後過去からの知見ですね過去からの知見から、不確定性っていうものはほとんど辺らつきがございませんと。なので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:39	最も実効増倍率が高くなったところに対して不確定性を評価いたしまして、判定基準を満足していることを示すと。
0:36:49	ということが
0:36:50	我々の臨界評価の判定基準と考えておりました、
0:36:55	おります。
0:36:57	規制庁それでそれでしたら過去の知見をちゃんと説明してください。過去の知見どこにも書いてないのでわかんないですよ。
0:37:04	なぜ、なぜそのどういう知見があって、
0:37:08	どう、それをどういうふうに扱おうとしてるかっていうところが説明されない限り我々は理解できないので、
0:37:15	ありがとうございます。その結果といたしまして今回の評価に照らしまして、同水位が高く下がった場合でも、不確定性というのは十分小さいということをお示した上で
0:37:27	最も水位が高いところで、
0:37:30	水位が高いところで、実効増倍率が高いところの、
0:37:33	のみ不確定性を評価いたしまして、
0:37:37	衛藤。
0:37:39	お示していると、いうことでございます
0:37:57	7 規制庁数ですそれ、その今のところについては関西電力の中で意見が統一されてないんだったら、しっかり統一した意見として、
0:38:06	過去の地形に基づいて、どういうふうに評価するんだって考えているのかって言うんだったら、まず過去の試験しっかり説明して欲しいし、いわゆるそんな過去の知見なんか関係ないんです。この、
0:38:17	何点か計算してみて、我々が想定していた通り変わってないので、どれなんだっていいんですっていう話だったらそういう説明をして欲しいし、
0:38:27	結局何をどうしようとしてるのかがやっぱわからないので、
0:38:32	臨界の判定をどうやるのかっていうやり方。
0:38:37	そこをちゃんと説明し、してから、そのエビデンスはこうですっていう言い方をしてください。
0:38:44	はい。関西電力の福原です。ちょっと先ほどの私のご説明に対して鈴木さんの方から、わかりましたっていう流れがちょっと僕わからなくなったんですけども。
0:38:58	我々としてはもうこのその不確定性の計算結果、あの表にお出ししてます数字これ三つお出ししてますけども、これ以上ちょっと今んとこやるつもりがまずないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:09	いうところなんですけども、先ほどの私のお話でいけば、その流れであればもっとあれもこれもいっぱいあるんですねっていうような感じの、鈴木さんのご発言があったように私には聞こえたんですけども。
0:39:23	なぜそうなるのかご説明いただけますか。
0:39:26	まずだから、臨界判定ってどうやってやるんですかっていうところが、
0:39:32	何かやっぱり、その時その時によって違うように聞こえるので、
0:39:38	臨界判定はノミナル値に対して、各水位の不確定性評価をした上で、
0:39:45	全部進んでみて一番厳しいところで確認しましたっていうことなのか。
0:39:51	そうじゃなくて、
0:39:53	不確定性評価の代表値を、
0:39:56	決める何かしらの根拠があって、
0:39:59	これこういう理由でこういう代表的な不確定性評価値を決めました。
0:40:06	だからそれは水によらずどこに積んでも同じなんですよっていう。
0:40:10	話をするのか、どっちなんですかねっていうところなんですよ。
0:40:15	関西電力の福原です。
0:40:18	もう一度
0:40:20	ご説明させていただきますと、3点、不確定性を計算してきています。満水営推千里水位0。
0:40:31	それらの確定性の数字というのはここに出しお出ししている通り、その3者の間でまず、大差はないですと。
0:40:43	ということをも、
0:40:47	へえ。
0:40:51	どこを取ってきてもどの不確定性を使ってもあまりもうもう変わらないと。であればノミナルが一番大きいところ。
0:41:02	伴。
0:41:03	判定基準に対して一番厳しくなってくる、ノミナルリーミナミのところの不確定性を積んで判定してやれば、それで全体が判定できると。
0:41:15	いうのがまず私どもの考えでございます。
0:41:19	規制庁それでそうすると、
0:41:22	何点かはやってみるってことなんですわ。
0:41:25	何点かはやってみたということです。
0:41:32	関西電力の福原です。
0:41:35	まず、
0:41:41	多分、時系列的なお話かなと考えてまして、我々としては、実行相談室が最大になったところだけでいいと、そもそも思っておりますと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:51	その上で、もしかしたら、審査の中です、もしかしたら水位が低下した場合この不確定性っていうのは大きく変わるのではないかなというように疑義が生じたことから、1点
0:42:07	嘘なんか付けがあったことから、あえて追加で不確定性を評価いたしました、やっぱりこの総合計画のばらつきというものは少ないですよといったような説明をさせていただきたいと思います。
0:42:19	規制庁杉それでしたら、
0:42:21	なぜ、
0:42:22	1点だけでいいのかっていう考え方があるわけですね。
0:42:29	よ。要するにもともと、
0:42:31	満水のところだけで、不確定性評価やってリンク判定すればいいんだって何かしらの考え方があるから、
0:42:39	そこは、関西電力としてはその1点だけで攻めてきましたただ、
0:42:43	規制庁から、いや1000mmとかやってみたらって言われたんでやってみましたついでに00ミイでもやってみましたっていうだけなんであれば、これは後付けで、
0:42:52	コメント回答してるだけであって、
0:42:55	1000mmとか0mmの評価の結果をもって、
0:42:59	満水時で表、臨界判定すればいいですって結論になりましたではないですよ。
0:43:06	まず満水時で、臨界判定すればいいんだって考え方があるから、そこだけでいいっていうのが関西電力の主張なんですよ。
0:43:13	じゃあなぜ満水時だけでいいんだっていう主張ができるんですがその説明をまずしてくれないと。
0:43:20	わからないですよ。
0:43:22	関西電力の福原です。その背景に私どもとして持ってる考えというのは不確定性っていうのは、基本水によらずそれほど変わってこないんだという考え方があるという、
0:43:38	ことでございます。規制庁性だから、その水が変わっても変わらないんだって理由を、
0:43:44	関西電力ってどう、どういうふうに考えてそう思っているのかってことをまず説明するのが先なんじゃないですか。
0:43:50	はい。関西電力の福原です。その説明なしにしてやってみましたほら数字大して変わらなかったですだけでは駄目だということなんですよ。
0:44:01	変わりませんでしたっていうんだったら、変わらないことをもって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:05	満水で評価するんですっていう、いう話になっちゃうじゃないですか。
0:44:10	どっちが先なんですかって話をしてるんですよ。
0:44:15	関西電力の福原です
0:44:19	今後、ご発言のご指摘のご趣旨は重々理解しているんですけども、
0:44:24	そこはそうですね我々としてはまずそのチャンピオンのノミナル値に対しての箇所だけ判定しておけば体系全体が判定できるであろうというところがまず出発点にあるっていうのは間違いありませんので、
0:44:43	少しは説明考えさせていただきます。
0:44:57	私から、
0:45:03	すいませんちょっと戻って恐縮なんで関西電力の福原です先ほどちょっと9ページ目、パワーポイント戻っていただいて、
0:45:13	非常にNfが大きい、離れたところにこの図の一番右端2点あるんですけども、
0:45:21	矢田さんの方からこの点があるからといって少しその間もっていうのは乱暴でしょうっていうところなんですけども
0:45:29	谷沢千野九州日比教務っていうのは淡路も理解してるんですけども、であればなぜこここんなにあってるんですかねっていうところが
0:45:41	これはもうだからもう、たまたま合ってるだけでしょこんなのっていう理解だっていうことなんですか。
0:45:48	旧テラモトですがこのエネルギー領域は拘束領域なんで、随分やった高速炉で実験をいっぱいあって、核データも全部修正して、よくあるようになったと。
0:45:59	だから、軽水領域と高速領域は一生懸命頑張ったんでせず、
0:46:04	中間は置いてきぼりになったので、いまだにわからないということ。
0:46:12	関西電力のフクハラですので今我々が議論しようとしている、その水が全部抜けちゃったポールの体系っていうのは、軽水炉領域でも、高速の領域でもないその中間の領域でしよっていうことなんですかね。
0:46:28	定点をてその通りです。一番厄介なところにかかっちゃってるんです。それは
0:46:34	一度グラフご覧いただいたらわかるんですが、こんなんよく計算できるんだけど、
0:46:42	関西電力の福原ですよく理解できましてありがとうございます。
0:46:50	規制庁鈴木です。今日の振り返りは大体そんなところかなって気がしますがすけれども、他何かあります。すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:00	清家表ですが審査会合のときに私ちょっと勘違い接続があつてですね何か言うというのは、
0:47:06	浅倉さん。
0:47:07	コメントに対するあれなんですけど、
0:47:09	結局ね何が原因だったかっていうと、わかりまして、私が見たのはですね表の一番下から二つ目の東京さ。
0:47:17	これが私は、もうすでに 95 から 95 になってると思い込んでた。
0:47:23	実際どの子 11cc までしかない理由は何かというと、一番下の注 2 のところに、見かけて事情してるんで、明らかにこれは σ の値を減らすとかされてて、私はそれを勘違いして、
0:47:37	0.0005 かな、これはもう、とけ誤差でこれ以上ないというふうに見たものだから、
0:47:44	その 2 倍 D2 がないってのはどういうことだところ短絡的。
0:47:49	きちゃった。
0:47:50	だからでもしもこれがワンシグマであれば熱 Σ ぐらいの誤差は当然あるんで、
0:47:55	誤差としておっしゃる通りやればやるだけコロコロコロコロ変わる可能性はなくて、だからそういう意味では府川さんのご認識は正しかったというのは、確認できたんです。
0:48:08	それについてに言いますと、これはですけどラック内粘土返信の真ん中の辺りなんかも違ってる気がするので、
0:48:14	後で修正をしてください。
0:48:17	刀禰。はい。何か、はい。
0:48:20	演奏考慮するやつの中の下から 4 番目かな。なんか、ラック内、燃料編集とか何か、
0:48:28	何か抜けてる気が。
0:48:31	違うかな、私は思ってるんですよ。
0:48:36	はい、はいはいそれだけです。はい、それではそれだけですはいはい。
0:48:41	これ蛇足ですけど。はい。
0:48:49	関西電力の福原です山田さんどうもご説明ありがとうございました。ちょっとそこのところの説明に対してすごくちょっと山崎山尾さん反応が、ちょっと私としても、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:00	あれってちょっと正直感じたところがありましたので、誤解が解けたということでもよかったですもしかすると、私どもの今日のこの資料の右方 10 ページの提示の 3 ポツ目該当部の 3 ポツ目で、
0:49:15	モンテカルロ法による統計誤差の約二倍程度でありっていう、この我々の意味が二倍程度、我々としては 2 倍程度しかない小さいっていうつもりでしゃべってるんですけども、
0:49:27	2 倍程度もあるすごく大きいっていうしゃべりを関西電力がしているように受け取られたの受け取られデモしたのかなっていうところをちょっと気にしてたんですけども、そこは、
0:49:38	地図でよろしかったですか。
0:49:41	先生ほどですがおっしゃる通りで、モンテカルロ法による統計誤差が約 2σ 程度と書いていただいた私は、ならなかったと。
0:49:49	統計誤差というのを
0:49:51	統計誤差っていろいろ定義があった 2σ 程度って書かれてたらそんなもんかなと私は思っ。すいませんちょっとせっかくなんでもうもう少しだけちょっとここしっかりやっておきたいので、お時間。
0:50:04	とって申し訳ないんですけど、ここの文章の説明を下の表取って突き合わせていきますと、モンテカルロ法による統計誤差。
0:50:15	ていうのが、下から表の 2 行目で、0.005 とか 0.004 というこの数字のことでございます。
0:50:25	その一方で、塩素のありなしとか水の計報によるその不確定性のばらつきっていうのが、その下の行に出てきます。0.0115 とか 0.
0:50:37	011 のどこの三つの数字の多分ですね、これらのそのばらつき。
0:50:43	ていうのが、これ引き算してみますと、その下に赤い字で書いてます、0.01 程度ですと、単純に 3 層してみますと、その 0.05、
0:50:55	一まあまあ 2 倍ぐらいですねということをここで申し上げてルーわけです、それ以上の意味もそれ以外にもないところなんです。つけ足して言いますと、判定基準 0.98 の裕度に対して小さいっていうのは、
0:51:09	少しちょっと趣旨が違うよねというご指摘もあつたんですけども我々としては、先ほど奥さんに対してご説明差し上げた通り、それを足したところで、0.98 より大分下にあるという趣旨でこの文章をまず書いてますというところなんです。はい。
0:51:27	土山先生でもこれで理解いたします。
0:51:31	ついでですけど

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:34	最終的には不確かさ合計についても、ワシグマなのか通信案のこの辺を明確にされた方が、
0:51:42	出ないと。
0:51:43	その二倍して足すのか3倍へ出すのかわからないので、その辺はもう少し、例会化された方がいいと思いますけど関西電力の平野でございます。今の山本さんのご発言なんですけども、この
0:51:55	非公開範囲ではあるんですけどその中にのちに一応式として書かせていただいております、
0:52:01	登場してきているのかなとは思いますが、
0:52:08	加来専務ですそれぞれは理解したんですけどただ問題は、最終的にルールとして出してますよね。
0:52:15	これ一プシロンっていうのが、結局ワシグマでやられたのか、多分ね、これ。
0:52:21	あれだと思えますよ。何だっけ。
0:52:24	一応分布でやったやつを、なんかねランダムサンプリングかなんかで、正規分布に、
0:52:31	伝えてやってると思えますけど、最終的にはやっぱりワシグマタカミチツガネとか、確率分布で、
0:52:38	そんな時にワシグマでやられたのか。
0:52:42	どうかなのかちょっと気になりますね、それ結局最終的な結果がワシグマレベルなのか、
0:52:48	2σレベルなのかわからないで、唯一わかってんのは主務だけでこれは東京放送、
0:52:55	他のがちょっと、
0:52:57	はっきりわかった。
0:52:58	すいません。関西電力の福原です。今山田さんおっしゃったワシグマでやられたのかっていうそのワシグマでやるっていうのはどどういう声のことを指してますか。例えばですね一プシロンで幾つか出てると思いますが、
0:53:12	不確か性って書いてあるけど入力値書いてたら、アマヤ、
0:53:17	ちょっと何か言うと、
0:53:18	ランダム言ったんじゃないで、一律に何ミリかのふやしたり減らしたりしていったっていう話で、その差をとって、
0:53:25	それを、
0:53:26	凄さとして出されてる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:29	ただこれは何かというと一応もっと、
0:53:32	1 概おかしいか。
0:53:35	補佐のモデルとしては、
0:53:37	1 点と 2 件しかないから
0:53:39	そういうなんていう、正規分布になってない。
0:53:42	施設規制庁スズキですけど、例えばね、
0:53:48	燃料剤の直径っていうのを、
0:53:51	一律、
0:53:53	多分これ製造公差の最大プラス側に振ってみましたってことなんだけど、
0:53:59	これは何本もある。
0:54:01	何万個もある。
0:54:04	ペレット。
0:54:05	が、
0:54:06	実際には、
0:54:08	この範囲内で、
0:54:10	一応分布になってるんじゃないかって、
0:54:13	どっかを中央値にして、多分正規分布で、
0:54:16	製造されてるんでしょね。そこまで考慮して、
0:54:20	解析したんですか、それとも、
0:54:23	単純に、
0:54:24	一様分布のつもりで、
0:54:26	MACCSとかミニマムとか振ってみたりして、条件設定したもので、一発ポンと計算してみたんですか、どちらですかってことを聞いてるんです。
0:54:36	関西電力の福原です。ここで我々どういう操作作業したかといいますと、例えば燃料材の直径っていうのが、物を作る時に許されてるプラスマイナス側の公差がありますと。
0:54:51	それに対して、一番大きい側と、小さい側を前ペレットに対して入れると、もう太いペレットも全部太いペレットばかりを集めてきた。
0:55:04	場合をやってみたり、逆にいろんなパラメーターあるのでマイナス側の方が厳しい場合もありますのでそれを全部、全部に合った
0:55:13	当てはめてやってみて、その結果として、実効増倍率がプラス側に一番出たのはどれですかっていうやつだけをあげつらっ抜粋してきてこの表に書いてます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:25	例えば言いますとこの燃料直径で言いますと、言えないですけど、入力値がこれぐらいちょっと
0:55:34	ノミナル値に対してなったときに、一番不確定性実効増倍率が、ここに書いてますんで、.014 ぐらい大きくなった。
0:55:44	ということです。
0:55:47	先生もですけどそれやられますとね結局、過大評価、
0:55:52	結局ね、だからさ、逆にそうだとしたときであって、
0:55:56	そういうのは何万個あるプレートのチャンピオン出しました言うたら、
0:55:59	ワンシグマだって 60 何% 参与 3 割すごくあるう計算だけだから、
0:56:04	その辺もちょっと、
0:56:05	しっかり詰めたら、こんな無理なく続く、監査、関西電力の福原です。我々としてはもう従来の許認可手法というとあれですけども、より安全側はより審査に
0:56:21	通りにくいというところとちょっとあれなのかもしれないですけども、我々にとってそれより安全側に厳し目に、実効増倍率を評価する、見積もる。
0:56:31	いうこととして、そういう実際それ全部ありますよそんな一律プレートが全部こうこれだけ太くなったり大きい小さいものとするわけがないので。でも我々、許認可の方法としては、そういう極端なその仮定を置いて、
0:56:44	それでも事故バイスが、判定基準を超えない人みたいな臨界にならないっていうことを証明してきているというところではい。
0:56:54	先生もその理解しました。実はね、これもしかしたらやってるんかなと思ったんですけど。
0:56:59	結局そういうキャンプのデータだけ七つぐらい並べといてね。それで、それぞれランダムサンプリング。
0:57:05	やって、事情というところねこれ営業部なんですよ。綺麗に。
0:57:10	そういうやり方が一番言えばすっきりするとね統計的にも正しい数学的に、ちょっと続きですけど、
0:57:18	そそうそういう扱いをする時には多分この不確定性みたいな。
0:57:25	教諭受容できる範囲みたいな言い方ではなくって、
0:57:30	やっぱり不確かさ。
0:57:32	評価になるんですね。
0:57:34	だから
0:57:37	時ノミナル評価をする、する時に対して評価条件を設定する時に不確かさどういうふうに言いますかって話は、今回取り入れてますけど、その不確かさと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:47	ここの不確定性って扱いが違うんです。
0:57:51	ということなんですよ。
0:57:52	で、この不確定性っていうやり方は、極めてクラシックのやり方で、
0:57:58	最近のトレンドとはちょっとやっぱ違うので、
0:58:02	そこの意味合いを差し替える必要はないと思っていて、
0:58:08	要するにDBの世界。
0:58:11	そのままそのストレッチしてやっているSAでも適用して、ここは、
0:58:16	評価をそのまま使っています。結果的には、
0:58:20	若干、若干厳し目のね、評価になってるんじゃないかなっていう話が前提にあると思っているので、
0:58:27	何かあまりそこは変えなくても私はいいかなというふうに思ってるんですけど。
0:58:32	関西電力の福原です。今、くしくも鈴木さん若干とおっしゃいましたけれども我々ですねかなり厳しめにやっているのかなという認識は持っていますけども、
0:58:42	もう少しだけちょっと補足させていただきますと、このページの下が注の2のところ、イプシロン=という式書いています。こうやってまず求めていきますというところは、
0:58:54	しっかりご理解いただきたいなと思っまして、この上の表に出てくるこれらのパラメータに対して、こういう、どこまでしゃべっていいのかあれですけども、
0:59:05	一般的に独立事象とそうでないもの等のカクウ。
0:59:12	訂正の足し合わせの一般的な解き方かなあと思っます。これをご覧いただいてそれぞれのイプシロン、 Σ ですね、がどういう形で最終、
0:59:26	不確定性の合計値2節ローンの仕上がりに対して、どういうその組み入れかた貸してるのかっていうところは、ここをご覧いただければ、よくご理解いただけるかなと思います。
0:59:45	すべてののですが、蛇足ですが、この式使えるのは正規分布の場合だけです。
0:59:49	だから除籍分布を足し合わせたものは政局になるけど、それ以外のものは全部違う方向になっちゃうんだけど、成り立たない。
0:59:56	関西電力の福原です。学術的にはおそらくやあ、きっと尾山さんおっしゃられていることが正しいんだと思います我々としてはそれを使ってさらに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:08	最寄り多分おそらく孔口することによって最初の仕上がりイプシロンは、かなり過大評価にこれだとなってくるというところを我々はそこは承知の上です。それでも安定基準 0.98 に対して、
1:00:23	これやっぱり我々委員会の評価委員会という、万が一もあってはならない、いいことだというテーマだと思っておりますので、これぐらい過大評価していった、
1:00:33	もう、ちゃんと未臨界に出ていますということをご説明する必要があるのかなというふうに言われるしか思っていますというところでは。
1:00:42	規制庁スズキです注 2 の、
1:00:49	統計、
1:00:51	数学のね、統計としては、使い方ってところはいろいろ議論はあると思っ て、ただ
1:00:59	クラシックのやり方として、こういった不確定性っていうのはどういうふう に、最終的な評価値に組み入れていくのかっていうやり方として、
1:01:10	この臨界判定に限らず、クラシックない方って結構こういうやり方を昔か らして、
1:01:17	それが設計上受容できる範囲だと、そういう話で、
1:01:23	扱っているのはこれは一般的な、
1:01:26	ことだと思うので、それを新しいやり方に変えない限りにおいては、
1:01:31	数学的に、
1:01:34	正しくはないかもしれないけど、
1:01:37	工学的なやり方としては、車、受容されているやり方だというふうに私は 理解しているので、
1:01:44	そこは別にあえて変える必要はないかなっていうふうに私は思っている ところです。
1:01:54	それで規制庁推計ですけど、
1:01:57	ちょっと今日の振り返りプラスアルファのところ若干今出てきましたけ ど、
1:02:01	プラスアルファのところは、今後の資料作りのところでしっかり取り、
1:02:06	取り込んで考慮した上で取り、資料作っていただいて、
1:02:11	そこで確認していきたいというふうに思っておりますんで、
1:02:15	東京の振り返りとしては以上かなと思いますけれども、
1:02:20	ほかによろしい、規制庁もよろしいですね、と関西電力の方もよろしいで すか。
1:02:26	はい。関西電力の福原です。あと我々としては

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:32	計算結果ですね、今日お出しできなかった感度解析ケース四つについての演奏。
1:02:40	大貫伊井のものを、をお出しする。
1:02:45	だけかなと、あと説明上の工夫というか澁然必要なんですけども、新たな情報をして今日入ってなかったものとして必要なものっていうのは、
1:02:56	そこだけだと理解しているんですけども、1点だけ確認なんですけど不確定性の、今日少しこの間に出たと思ってるんですけど、演奏。
1:03:07	この10ページの表で言うところの、
1:03:10	水1000mmの演奏なし。
1:03:14	というもののその不確定性を求める必要があるのかないのかというところなんですけども、ここについては、私どもとしては今のところ、
1:03:24	求める必要はないというふうに考えているんですけど、そこについて規制庁さんのお考えをお聞かせ願えますか。
1:03:31	規制庁それでそこは考慮してもしなくても変わらないんだっていう主張がありますという今日説明だったので、
1:03:39	変わらないということをちゃんと説明していただければ、
1:03:44	で、ただ、
1:03:46	検層はない。
1:03:48	ので、
1:03:49	ないケースで、評価した結果で書いてあれば、
1:03:54	わざわざそんな説明する必要はないんで、わかりやすいですよって言うだけです。
1:04:03	これは何かURの話になったんですけども、結局、
1:04:07	この真ん中のケースって推移も変わってるしさんも変わってるんですけど、だから偶然。
1:04:12	翠川って無茶苦茶変わってて、塩素で逆方向に行って偶然一致しましたじゃないんですか言われたときに説明が、
1:04:20	そうですねと。
1:04:22	オフレコじゃできない。
1:04:25	申し上げて、
1:04:27	関西電力の方から、その疑問を今、飯山さんがそういう疑問をお持ちだということなんですか。
1:04:39	規制庁数字ですと別に
1:04:42	そうだと思っているわけでもないけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:45	そうだって突っ込まれても、
1:04:47	できるような説明が当然あるんですよってことだけです。
1:04:51	別にそういう趣旨で説明しろって言ってるわけじゃなくてそもそも、
1:04:57	水攻めに何かで演奏なんて考慮しようがしまいが変わらないんですよって いうことを、
1:05:03	物理学的に説明できるってことだと思っているので、そう説明は、まずは していただく必要があるし、
1:05:11	それを一生懸命説明。
1:05:14	するっていう選択肢と、
1:05:16	塩素を抜いたやつで、
1:05:18	結果差し替えちゃえばそんな説明要らないで、
1:05:21	簡単かなっていう、言ってるだけなので、どちらを選ぶかは別に関西電 力の自由だと思って
1:05:28	関西電力の福原です。この推薦ミリは当然、まだ気相部支配、になっ てますと、堀江気相部
1:05:39	の部分っていうのは演奏見てませんもともと、
1:05:44	ということからも明らかにもう演奏ありであろうがなしであろうが、もう変 わってこないですよ。
1:05:51	ていう、ばくっとん指示非常にショートに説明しようとする私の説明は そうなります。
1:05:57	規制庁杉そこはだから、
1:05:59	気相部が支配的だと思ってますっていう。
1:06:03	思いだけじゃなくて、気相部が支配的であることを客観的に説明し、され る必要がありますよねってことです。それが、
1:06:12	私が、
1:06:14	審査会合の中で、EALFなんかのグラフなんかで読み取れるんですよよ ねって聞いたところですけど、いやそういうつもりはありませんって いうふうになんか言われたので、
1:06:23	どうやって説明するのかなって思ってるだけなんですけど。
1:06:28	関西電力の福原ですまず今角さんのお話の中で、ちょっと気になったの はこの推進見るのところまでは、もう気相部が支配的だっていうのはも う我々と規制庁さんの間でもうがっちり、
1:06:41	と共通認識だと私思ってたんですけど、そこはまだそうじゃないって いうことなんです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:47	規制庁鈴木です多分そうだろうなどは思ってますけど、やっぱりちゃんとそこは説明してくださいよっていうことをずっと言ってるだけ。関西電力の福原です。あとそれともう1点、ちょっと何か、
1:07:00	EALFとの関係で、何かそうじゃない説明があったという、ちょっと私ども今誰か網野さんちょっと記憶が薄れてきて、申し訳ないんですけど、どういった場面のどの発言のことかだけちょっとリマインドいただければ。
1:07:14	も規制庁スズキですけど、
1:07:17	結局、不確定性評価を、
1:07:21	するにあたって、水ゼロのところの、
1:07:25	ベンチマーク実験データを入れる入れないって議論の中で、いやそもそもそんなところまで、
1:07:33	見る必要はないんですよって話をしているところで、いやそれは、例えば11ページの、
1:07:40	EALFのグラフ見たら、1000mmぐらいまでのところ、
1:07:44	ってというのは、
1:07:45	熱中性子の駅からの領域の範囲内のところなんで、
1:07:51	そんな、
1:07:52	水素の話なんで、その話気相側の方の話なんか関係ないじゃないですかって、
1:07:58	そういうつもりで、
1:08:01	結局、
1:08:03	その
1:08:04	水位が低いところのベンチマーク入れないんですかねって話をしていたんですけど。
1:08:09	いやそんな時に、いや、その液相側が、
1:08:14	支配的であると考えられていうところは、当然なんですっていうことを言われたんで、EALFの観点で説明するんじゃないんだというふうに私は、
1:08:25	聞いたわけですよ。
1:08:33	関西電力の福原です。今のお話で、このパワーポイントの右肩4ページに出てきた、
1:08:41	SE時のEALFの体系がありますけどもこれを不確定性の算出には組み込まないんだっていうお話があったのは私も理解しています。要望しています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:54	その時に僕は燃料にUで今見てますので僕もには違うので、含めないんですという説明を当方からしたかと思います。そこまでちょっと記憶しているんですけども。
1:09:10	そのあとが、
1:09:15	ちょっと正直アノ規制庁スズキノダが最終的には妥当性評価の方で椎葉伊井を、
1:09:22	しっかり見てるので、
1:09:24	あえて不確定性評価の中に、
1:09:29	4 ページで言ってる数字の外の体系とかっていうのを、
1:09:35	これはもう、ウラン以外のものが入ってるから入れないっていう考え方なんだけど、その範囲まで不確定性評価なんかベンチマーク入れなくていいんですかっていう話をしたときに、
1:09:48	まずはす。
1:09:50	液相が支配的などころで見てけばいいんですって話があったから、
1:09:54	液相が支配的だっというところできる理由としてはEALFできるんですかねって話をしたんですけど。
1:10:00	いやそういう話ではないです。単純に。
1:10:03	ウラン以外のものが入ってるから取り除きます。あとは妥当性確認の方で、火はいいが、そこそこいいと言ってるんで、
1:10:11	その説明であとはそれでいいじゃないですかって、あんまり何かそういうの入れていくとだんだんだんだん不確定性値評価結果が、
1:10:19	小さくなってきますよって何かそういう話をしただけですよ。
1:10:25	なので
1:10:27	液相が支配的かどうかという話ところを、
1:10:31	何か説明がやっぱり必要であるっていうことであれば、このEALFのは、
1:10:37	グラフで説明するのかなって今思っただけなんですけど。
1:10:48	すいません、浅利本橋です。今ご説明いただいたのは気相部が、
1:10:56	薄井 1000 ミリで、駅総務部が支配的であるってことの説明。
1:11:01	にあたって、説明にあたってこの
1:11:05	11 ページ目のTAFのグラフ。
1:11:08	を見たときに、水 1000mmのところは、
1:11:13	第 1、第一位を超えない程度。
1:11:19	いえ、
1:11:27	そうしたときに、そうしたときに、この

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:30	この、左が左の越冬後伸びた時にその部分、
1:11:36	については、
1:11:39	と、
1:11:40	ベンチマーク。
1:11:42	あって、ちゃんと芝居合ってるってことが確認できますねと。
1:11:47	そういう繋がりで説明するっていうご趣旨です。
1:11:53	規制庁それでそこでもCは関係ないですよ。
1:11:56	単純に液相が支配 1000mmぐらいのところまで液相が支配的であるということの説明するのに、
1:12:04	この 11 ページのEALFのグラフを使うんでしょっていうふうに、単純に不確定性評価の議論として聞いたときには、そうじゃありませんってはっきり言われたので、
1:12:15	そうなんだっていうふうに思ったんだけど、
1:12:18	今回はその塩素のを考慮するしないの。
1:12:22	判断材料として液相を、
1:12:24	が支配的であるところにおいて演奏考慮しようがしまいが関係ないんだっていう話を説明するときは、結局この 11 ページにFのグラフで、
1:12:34	説明するんですかねっていう話なんですけど単純に、
1:12:38	液相が支配的だっていうふうに、共通認識があるからそれでいいですよなって言われちゃうと、いやそれはまずやっぱ何か説明はしましょうよって言うだけなんですよ。
1:12:49	はい。関西電力、
1:12:51	藤先生、会合中の中でちょっと説明が、
1:12:55	まずかったかなという部分もごさい、あるのかもしれないですけども我々としては、まず、
1:13:03	右肩受
1:13:05	ページの、
1:13:07	左の図が示す通り冠水状態からほとんど変わっていないと、実効増倍率は 1000mm程度ですが、この 11 ページの右のNFの図を見たとしても 1000 円。
1:13:19	スイセンミ程度までは後冠水状態と同様に、0.2 ですとか、0.3 ぐらいであると、いうことをもちましてこの辺りっていうのはやっぱり水、
1:13:29	液相が支配的ですよねと言った。
1:13:32	ご説明させていただいたのかなあとと思ってまして。もっともっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:38	もしもそれが伝わってなかったようであれば、この場を借りて訂正させていただきます。
1:13:44	運営規制庁数日単純に、
1:13:47	10 ページの二つ目の中ポツのところで、
1:13:51	支配的であると考えられるっていう考えを書いているだけなんで。
1:13:55	いやそうじゃなくてEALFで、支配的だって確認したんですっていうんだったらもうそれでいいでしょって言うだけ。
1:14:05	青天をそうですがちょっと思い出したんで三好さんと一緒にやったときに、
1:14:10	バックリング使って下がって参りましたよね。覚えてる。
1:14:15	あれ、全部液相ですから、基層関係ない、液相だけで下がるんです。
1:14:20	ですと、木曾萩尾生きてくるのは、そのバックリングの合わなくなった。
1:14:24	だから 20、200 ミリとかあの辺だったら、
1:14:28	あり得るけど、1000 とか 800 とか 600 とか、或いはバックリングで下がっているだけで、
1:14:33	茂木層で単独、
1:14:35	液相だけで、
1:14:37	規制庁する規制庁スズキですとそれを話した時は、要するに基層側の中性子原則だけで、
1:14:46	気相側も含めた中性子の分布っていうのが修正 1 グーン拡散理論に基づいた、
1:14:55	単純な計算で説明できますよね。そう説明したらどうですかっていうふうに規制庁側が、
1:15:01	話をしたけど、いやそういう説明しませんEALFで説明できるんですってあの時は言ってたわけですね関西電力は。
1:15:10	だから今回のこの支配的であると考えられているところは、
1:15:15	関西電力としてはEALFでこういう説明できてるんだから考えられるとかそういうことじゃなくて、支配的だってこう示していると。
1:15:22	いうんでしょって言った話をしているだけなんですけど。
1:15:29	関西電力の兵藤です。
1:15:31	言葉部会が悪かったのかなというところが、
1:15:35	今の反省でございます。はい。ちょっと断言させるような、
1:15:39	言い方ですね今後気をつけさせていただき、
1:15:52	ちょっと、
1:15:54	もう振り返りの話じゃなくって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:58	何か議論になっちゃった、いましたけど、それを置いて、今後のね、スケジュールの話少しチラッと関西電力が出ましたけど、
1:16:11	今後
1:16:12	いつまでに何をやるかって話ですけど、
1:16:15	前回のヒアリングにおいてスケジュールの話は進めると私は思っていて、
1:16:22	6月の第2週にとりあえずもう審査会合エントリーしているので、そこで1週目か2週目でやりたいですってことだったので、
1:16:32	エントリーしてますんで、
1:16:41	市の中は1週目です。
1:16:43	2週目は後の終了です。
1:16:47	で、後の週でエントリーしてますので、
1:16:51	そこから逆算すると、
1:16:54	し、解析結果なり今日の資料の訂正含めて、
1:16:59	資料出していただくのをいつにするのか。
1:17:03	で、
1:17:03	一発で行くんだったら、
1:17:05	2週間ぐらいあるかもしれないですけど、
1:17:08	1回出して確認してもう1回修正とかっていう話。
1:17:13	まで見込もうと思ってるのであれば、
1:17:16	早めに出していただく必要がある。
1:17:20	ということ。
1:17:22	その辺はちょっと、
1:17:24	この場で確認できるのか。
1:17:27	ちょっと心づもりだけ何かあるのかちょっと言っていたらと思います。
1:17:31	関西電力の富樫でございます。現状考えてございますが解析結果が出てくる時期もございますので、資料提出としましては、5月の26日、
1:17:42	までを目途に提出させていただければと考えておまして、その翌週にヒアリングをさせていただければありがたいなと考えているところでございます。
1:17:54	そうですね。ここでのコメントをいただいて、ヒアリングでいただいたコメントを修正した上で、
1:18:00	6月の
1:18:02	第2週での会合。
1:18:05	をさせていただければと考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:07	はい、規制庁ですわかりました。とりあえず 1 回だけヒアリングやって、
1:18:12	もう後はもう差し替えた。
1:18:14	計算結果差し替えたもので説明するってこと。
1:18:19	審査会合の話は、審査会合までには 1 回だけヒアリングやるぐらいのイメージで、
1:18:29	すみません、関西電力の福原です。26 日にお出する資料には、解析結果を入れますんでその上で今日いただいたコメントの周知的なところも
1:18:41	修正したものでお出します。それでその翌週 25 日の週にヒアリングを 1 回させていただいて、それも踏まえたやつを出し直して、介護望みたいというのが我々の思いで、規制庁数でそれは間に合いません。
1:18:57	2 週目に審査会をやるには前野全周最低でも 1 週間以上前、1 週間前には資料確定しないと、我々審査会合セットできないので、
1:19:07	これいつも言ってることなので、
1:19:10	もう 1 回出してからみたいなことはないです。
1:19:14	今の今のスケジュール感からすると、
1:19:18	最初に出された資料でそのまま審査会合は本番です。はい。
1:19:23	そこそこでまた何か資料修正とかあったりしたら、
1:19:29	確認しなきゃいけないぐらいの資料修正ならもう 1 回審査会をやりまし、あそこの趣旨で、こう直しますっていうだけだったら、その趣旨だけ事務局で確認する点もありますけど、
1:19:43	関西電力の福原ですもしそういうことであればヒアリングを受けて、もう 1 回資料名を修正したいっていうことであれば、なおかつ、1 回目のショウガンの提出が 5 月の 26 日になりますと、
1:19:56	いうことであれば、もう審査会合は 6 月、
1:20:01	12 の週。
1:20:02	にした方がいいというそういうことですか。
1:20:07	成長するそれしかないと思います。
1:20:17	規制庁都築ですけど
1:20:19	その上で、その上で、
1:20:22	申請書の記載を変えるところ、
1:20:26	含めて、
1:20:27	前回も言いましたけど、保安規定と、
1:20:31	同時の決済を望むんであれば、
1:20:34	審査会合前に補正がされるないと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:39	難しくって、審査会合の後に、施設購入の補正されるんだったら、
1:20:44	その内容を受けて、保安規定の方の話を確認していく必要があるので、
1:20:50	同時の手続きは当然難しくなるので、
1:20:55	そこについては認識しておいてください。
1:21:02	関西電力の福原です。今のその補正申請を出すタイミング、審査会合との前後関係によって、
1:21:14	設工認と本規定の認可のタイミングが同じになるのかずれてくるのかっていう世界はだんだん理解で聞いているんですけども、
1:21:27	もし、
1:21:30	審査会合後に補正をするということであれば、
1:21:36	そのあと、保安規定だけのヒアリングが発生しますよっていう。
1:21:43	理解したんですけど合ってますか。
1:21:45	規制庁そういうヒアリングが発生するかどうか分からないので、
1:21:50	設工認の補正が確定した段階で、
1:21:54	保安規定そのまま一緒にできるかどうか分からないですよってことを言ってるんです。
1:22:10	はい。関西電力の福原です。ちょっと私の感触としては今、設工認と保安規定が同じ日同日で認可をされることについて、特段、我々としてはそこまで強いこだわりというか希望が
1:22:24	あるわけではありませんので、そこはどちらかという、より円滑、効率的に審査というか、お互い進めることの方優先した方がいい、いいのかなというのが私の感想です。
1:22:39	規制庁宗です効率的かどうかわかんないですけど、とりあえずこだわらないのであれば、まず設工認側の、
1:22:47	補正をヒックさせて、
1:22:49	設工認の手続きを、
1:22:51	先にやって、で、
1:22:54	保安規定側はそこで並行して、
1:22:57	そごがないかなとかっていう話確認をした上で後程、
1:23:02	保安規定の方の手続きに入るとい形に、
1:23:05	んならざるをえないかなと思っているので、それで特段よろしければそうさしてもらおうと思う。
1:23:12	はい、じゃあ、スケジュール的にはそういう感じで、もう一週、
1:23:17	し、審査会合は、後ろ倒しに、
1:23:21	するという方向で、こちらが動きます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:33	じゃあ規制庁が場合これ以上特段ないので、関西弁はよろしいですね。
1:23:40	はい、じゃあ、本日のラップはこれで使用します。お疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。